

＼ 身近なところに日本ゼオン ／  
**機能美あふれる自動車室内をつくる  
 ゼオンのパウダースラッシュコンパウンド**



自動車の室内環境は、ナビゲーションシステム、ダッシュボード、コンソールボックスなどますます多機能化しており、内装材料にも単に美しさだけでなく、機能性が強く求められています。

ゼオンでは、自動車内装用材料であるPVC系パウダースラッシュコンパウンドをグループ企業であるゼオン化成、中国の瑞翁化成塑料(常熟)有限公司の工場生産し、デザイン対応性、機械的物性に優れた内装材料をお届けしております。

自動車産業は世界が市場であり、生産地は消費地に密接に結びついております。ゼオンの提供する自動車内装用材料も、日本、中国から世界の自動車産業を見据えた展開が求められており、これからの大きな飛躍が期待されております。



瑞翁化成塑料(常熟)有限公司の工場

**TOPICS** 次代を担う若手研究者をゼオンがサポートしています  
 ～「Polymer Journal 論文賞-日本ゼオン賞」～

5月29日に札幌市で開催された高分子学会年次大会におきまして、「Polymer Journal 論文賞-日本ゼオン賞」の受賞記念講演ならびに授賞式が行われ、今年度の受賞者3名に対し表彰状が授与されました。この賞は「Polymer Journal」という高分子に関する最先端技術を紹介する雑誌の中で特に優れた論文を発表した若手研究員に対し贈呈される賞で、2005年の創設以来、受賞した方々はこれまでに総勢28名を数えます。ゼオンでは国内外の若手研究者の研究奨励および育成を目的に今後も継続した支援を積極的に展開してまいります。



「Polymer Journal」誌





「会社を変える」中期経営計画のもと、世界的な需要の増加とニーズの変化に積極的に対応し、2020年度の目標達成への歩みを加速してまいります。



取締役会長 古河直純 取締役社長 田中公章

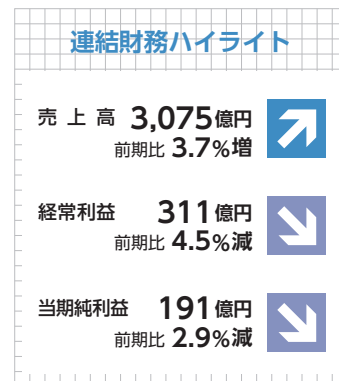
平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。ここに、第90期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)の報告書をお届けいたします。

**Q** 2014年度は期中に業績見通しの上方修正を2回されていますが、今回の決算についてご説明をお願いいたします。

**A** 事業環境は概して厳しく推移しましたが、連結売上高は過去最高を更新いたしました。

2014年度の売上高は、前期比4%増の3,075億円、経常利益は同5%減の311億円となりました。売上面では高機能材料や合成ゴムなどの需要堅調を背景に2期連続の増収となり、過去最高を7期ぶりに更新しています。損益面でも主力製品の価格低下を主因に年度通期では減益となりましたが、業績を半期ベースで見ると、上期の経常利益が前年同期比で14%の減益となったのに対し、下期は同8%の増益に転換しています。事業環境は概して厳しく推移したものの、徐々に当社の自力を発揮することができました。海外売上高比率が50%を超えてきたことも含め、中期経営計画『SZ-20 Phase II』の初年度として、将来に繋がる布石をしっかりと打つことのできた一年と位置づけています。これを受け、年間配当金は14円と、前期実績から1円の増配とさせていただきます。

商品別には、主力のエラストマー素材事業では総じて数量増があったものの、海外市況の下落が収益面での重石となりました。ただし、特殊ゴムや本誌特集でも採り上げている化成品など当社の技術力を活かした製品群は好調に推移しております。一方、成長分野の高機能材料事業では、価格の低下圧力が増しつつある中、COP樹脂が医療用途向けに好調となった他、光学フィルムがスマートフォンやTV向けの需要堅調を追い風に増収増益を確保しております。



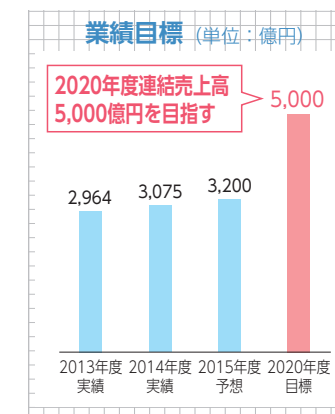
期中に行った業績見通しの上方修正は、為替の円安定着と当社開発の技術により実現した光学フィルムの好調がその主因となります。光学フィルムでは期初より保守的な見通しにあったことに加え、中小型液晶向けが当初予想以上の推移となりました。特に、反射防止やサングラス・リーダブルといった新用途向けが伸長しており、中小型向けの比率は34%にまで上昇しています。

**Q** 中期経営計画2年目となる2015年度に関する見通しをお聞かせください。

**A** 自動車関連需要の世界的な拡大などのビジネスチャンス、業績目標達成につなげる努力を継続いたします。

為替1ドル120円、ナフサ価格1キロリットル54,000円を前提に、売上高は前期比4%増の3,200億円、経常利益は同3%増の320億円を想定しています。3期連続の増収で、売上高は過去最高をさらに更新する見通しです。エラストマー素材事業では、自動車関連需要の世界的な拡大を軸に数量増を予想しています。2014年度と同様に海外市況下落はあるものの、原料安や円安効果、海外設備の稼働率向上で増益を達成する見込みです。高機能材料事業では、光学フィルムでやや伸び率の鈍化を想定する一方、電池関連の伸長でやはり増益基調を維持したいと考えています。

当社グループを取り巻く事業環境は依然として楽観が許される状況にはありませんが、計画の着実な達成に向けての努力を最大限続けてまいります。そして、「会社を変える」と銘打った中期経営計画『SZ-20 Phase II』を一層加速させる試みを継続してまいります。



**Q** 今年4月に水島工場におけるエラストマー素材の生産能力増強を発表されました。この決定の背景について、ご解説ください。

**A** 紙おむつなどのファスニング用エラストックフィルム向け需要の急拡大を、確実に取り込んでまいります。

今回の能力拡充の対象としたのは、紙おむつなどのファスニング用エラストックフィルム向けに需要が急拡大している熱可塑性エラストマーであります。そのため、需要増への迅速な対応や効率的な投資負担を考え、国内拠点の増強を決定しました。特集でも触れますが、エラストックフィルムは単に粘着力だけでなく、軽さや薄さ、無臭性、伸縮性を合理的なコストで実現する必要があります。これらの実現には当社独自の技術が大きく寄与しており、そういった面でも国内への投資は合理的であったと考えています。

今後は早急にこの新設備をフル稼働にすべく、新規需要の確実な取り込みを急いでまいります。同時に、こういった独自技術を生み出す技術開発を加速させ、革新的な製品、製造技術の研究開発を進める所存です。

# おむつの心地よさを 独自の素材「SIS」で追求する 日本ゼオン

軽さ・薄さ

コスト  
パフォーマンス

他素材との  
親和性

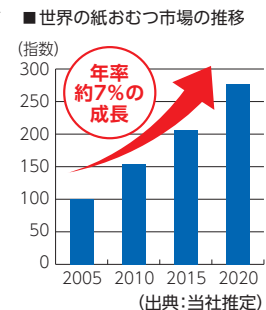


独自の素材「SIS」

ゴムの「のびぢみ」の  
強さと柔らかさ

## ●成長する紙おむつ市場

紙おむつの世界市場は拡大が  
続いています。2005年からの  
10年間で年率約7%という高い  
成長を遂げており、今後も同程  
度の成長ペースが見込まれて  
います。拡大をけん引している  
のは主として新興国で、乳幼児  
の増加に加え、経済成長に伴う  
普及率の上昇がその原動力と  
なっています。



日本ゼオンで生産する熱可塑性エラストマー（化成品事業）は紙おむつの材料としても利用されています。従来はおむつの各部材を固定する接着材料としての使用が主でしたが、近年は当社の開発した特殊SIS（スチレンイソプレンプロックポリマー）を紙おむつのファスニング部分にエラストックフィルムとして使用される例が急増してきました。これまでの糸ゴムの使用と比べ、やさしいフィット感、装着のしやすさ、ずれにくさ等が高い評価を受け、西欧市場ではすでに約9割がエラストックフィルムへと置き換わっています。

## ●需要増に増産で対応

2015年4月、当社では粘・接着剤の主原料となる熱可塑性エラストマー（製品名: Quintac®）の水島工場における生産能力の増強（年産42,000トンから60,000トン）を決定いたしました。Quintac®シリーズは、日本ゼオン独自の抽出技術・GPI法（ゼオン・プロセス・オブ・イソプレン法）により抽出された高純度イソプレンモノマーを主原料としたSIS（スチレンイソプレンプロックポリマー）です。



生産能力を増強する水島工場

コスト

### フィルムを薄くしてコストダウン。

独自の設計により、従来は両立困難であった高応力かつ高復元性のSISエラストック（弾性）フィルムを実現可能としました。これにより同じ性能を達成するのに必要な弾性フィルムの厚みを従来よりも薄くでき、お客様のコストダウンに貢献することが可能となります。

軽さ・薄さ

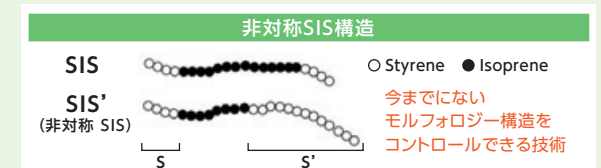
### 1枚あたりのフィルムを減らして軽量化。

良好な性能により、エラストックフィルムの薄膜化が可能となり、おむつ1枚あたりに使用されるフィルムの量を減らし、軽量化に貢献。また下着のような柔らかさを持たせられるため、より下着に近いスリムなおむつを提供できます。

のびぢみ

### モルフォロジー（微細構造）制御の新技术。

従来とは異なる方法でモルフォロジー（微細構造）を制御させることによって、柔らかさを保ちつつ、弾力のある材料を実現できます。その制御技術により、さまざまな性能のエラストックフィルムの他、高性能なフレキシブプリントの原材料への展開も可能としました。



他素材との親和性

### 粘着付与樹脂との良好な親和性。

従来のSISの特徴である、粘着付与樹脂との良好な親和性は同等に保たれているため、おむつ用のホットメルト接着剤や粘着用途としても、強度向上や加工性向上などのお客様への付加価値を提供できる素材となっています。

**会社基盤を支える事業**

**エラストマー素材事業部門**

合成ゴム／合成ラテックス／化成品

売上高構成比 **61.0%**

売上高

**1,888億29百万円**

**2.4%** (前期比)

売上高の推移

(単位：百万円)

年度	中間期	通期
2011年度	89,482	177,547
2012年度	85,296	164,028
2013年度	92,167	184,351
2014年度	93,854	188,829


**概要**

**合成ゴム**  
特殊ゴムにおいて販売数量を伸ばしたことから、全体の売上高は前期を上回りましたが、汎用ゴムを中心に海外市況の悪化の影響を受けたため、営業利益は前期を下回りました。

**合成ラテックス**  
手袋向けの販売が好調に推移したものの、製紙用途向けや樹脂改質向け等の販売が振るわなかったことから、全体の売上高、営業利益ともに前期を下回りました。

**化成品**  
国内市場での需要低迷による影響があったものの、海外市場での旺盛な需要および円安を背景に販売が好調に推移し、タイ子会社での増設プラント稼働に伴う売上高増加等もあったことから、全体の売上高、営業利益ともに前期を上回りました。

●当事業部門全体の売上高は1,888億29百万円(前期比2.4%増)、営業利益は168億18百万円(同13.0%減)となりました。



製品用途例

**新規展開を中心とする事業**

**高機能材料事業部門**

高機能樹脂・部材／情報材料／化学品／医療器材

売上高構成比 **22.9%**

売上高

**708億75百万円**

**10.5%** (前期比)

売上高の推移

(単位：百万円)


年度	中間期	通期
2011年度	25,946	48,134
2012年度	23,019	51,411
2013年度	33,004	64,154
2014年度	35,689	70,875

**高機能樹脂・部材**  
高機能樹脂関連では、医療用途等の販売が堅調であった一方で、光学レンズ用途では顧客在庫調整等の影響を受けました。高機能部材関連では、テレビ向け光学フィルムの販売が好調に推移したことに加え、モバイル向け光学フィルムの販売も堅調でした。この結果、全体の売上高、営業利益ともに前期を上回りました。

**情報材料**  
電池材料等の売上高は前期を上回りましたが、トナー等の売上高は前期を下回りました。この結果、全体の売上高、営業利益ともに前期を下回りました。

**化学品**  
特殊化学品、合成香料ともに拡販活動が進んだことにより販売数量を伸ばしたことから、全体の売上高、営業利益ともに前期を上回りました。

●当事業部門全体の売上高は708億75百万円(前期比10.5%増)、営業利益は94億46百万円(同3.6%増)となりました。



製品用途例

**その他の事業部門**

RIM 配合液・成形品／塗料ほか

売上高構成比 **16.1%**

売上高

**500億49百万円**


**1.5%** (前期比)

売上高の推移

(単位：百万円)

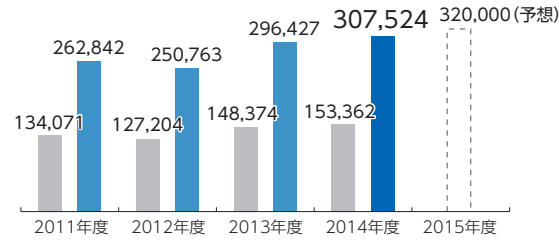
年度	中間期	通期
2011年度	19,641	39,057
2012年度	19,802	37,508
2013年度	24,632	50,798
2014年度	25,020	50,049

●子会社の商事部門等の売上高は前期を上回りましたが、塗料事業等の売上高は前期を下回りました。この結果、全体の売上高は500億49百万円(前期比1.5%減)、営業利益は20億17百万円(同35.6%増)となりました。

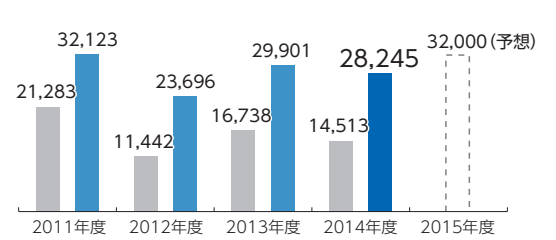




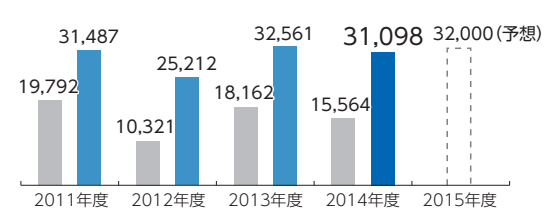
売上高 (単位:百万円)



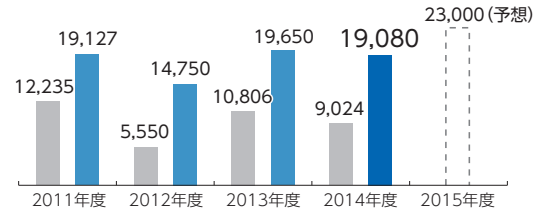
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)

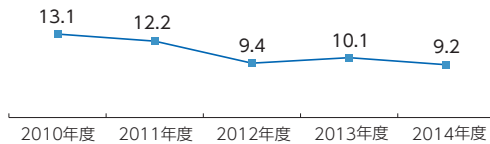


当期純利益 (単位:百万円)

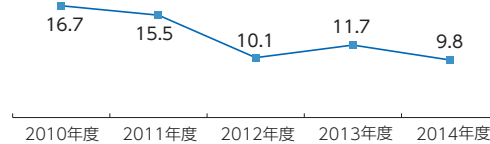


**POINT** ・販売は概ね堅調に推移しましたが、主として合成ゴム関連において海外市況の悪化の影響を受けたため、売上高は増加したものの営業利益は減少しました。  
 ・減損損失の増加などにより特別損益が悪化し、当期純利益も減少しました。

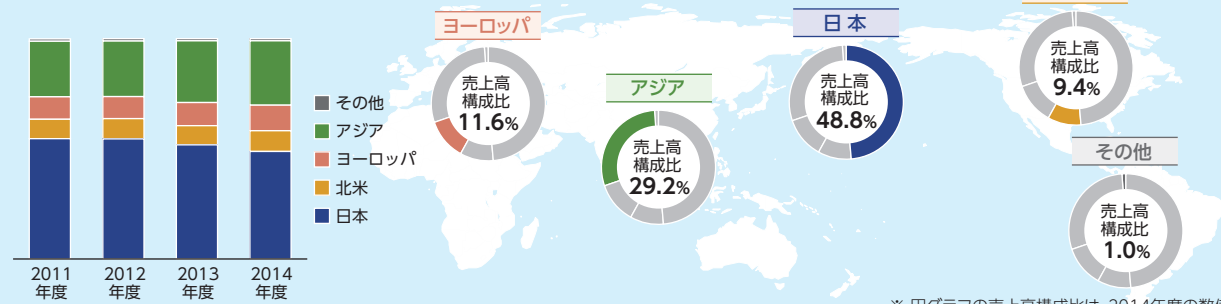
営業利益率 (単位:%)



ROE (自己資本当期純利益率) (単位:%)

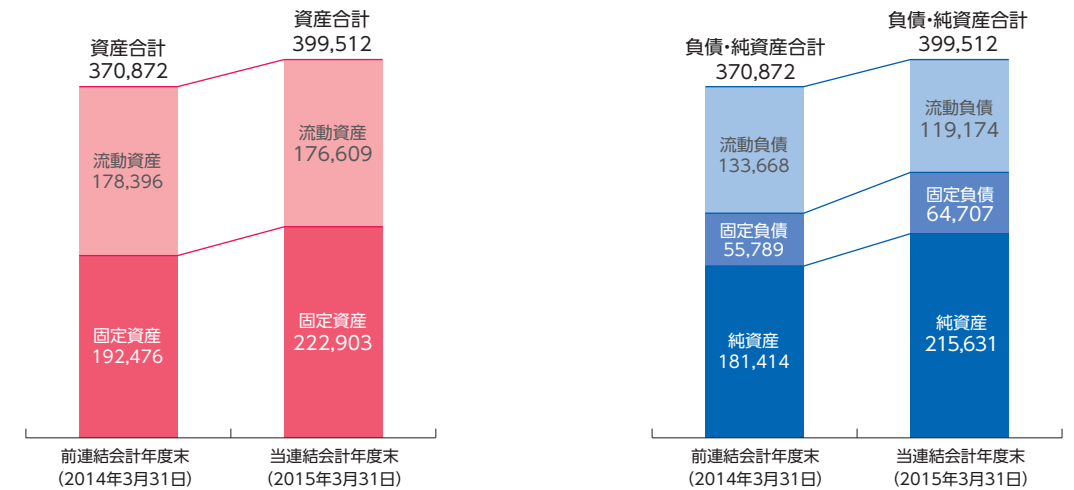


地域別売上高構成比 (全事業部門合計売上高に対して)



※ 円グラフの売上高構成比は、2014年度の数値。

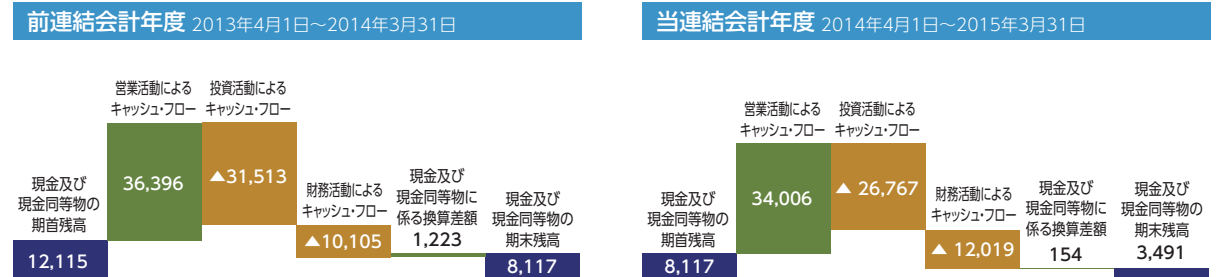
連結貸借対照表 (単位:百万円)



**POINT** 有形固定資産、投資有価証券などが増加したことにより、資産合計は前年度末に比べて増加しました。

**POINT** コマーシャル・ペーパー、繰延税金負債などは増加しましたが、支払手形及び買掛金、借入金などが減少したことにより、負債合計は前年度末に比べて減少しました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



**POINT** ・税金等調整前当期純利益による資金の増加等により、営業活動で得られた資金は340億6百万円となりました。  
 ・主として有形固定資産の取得に資金を振り向けた結果、投資活動で使用した資金は267億67百万円となりました。  
 ・長期借入金の返済、配当金の支払など、財務活動で使用した資金は120億19百万円となりました。

【会社の概要】(2015年3月31日現在)

商号 日本ゼオン株式会社  
(ZEON CORPORATION)  
設立 1950年4月12日  
資本金 242億1千1百万円  
本社 〒100-8246  
東京都千代田区丸の内1-6-2  
新丸の内センタービル  
電話 03(3216)1772

従業員 3,216名(連結)

【役員】(2015年6月26日現在)

取締役会長 古河 直純	監査役 藤田 譲
取締役社長 田中 公章	監査役 郡 昭夫
取締役 大島 正義(★)	監査役 西島 信竹
取締役 武上 博(☆)	常務執行役員 今井 廣史
取締役 三平 能之(☆)	執行役員 藤澤 浩
取締役 平川 宏之(☆)	執行役員 柳田 昇
取締役 西嶋 徹(☆)	執行役員 佐屋 利明
取締役 伊藤 敬(*)	執行役員 井上 俊弘
取締役 古谷 岳夫(*)	執行役員 小瀬 智之
取締役 伊藤 晴夫	執行役員 林 佐知夫
取締役 北畑 隆生	執行役員 豊嶋 哲也
取締役 南雲 忠信	
常勤監査役 南 忠幸	
常勤監査役 長谷川 純	

(★)の取締役は専務執行役員を兼務しております。  
(☆)の取締役は常務執行役員を兼務しております。  
(\*)の取締役は執行役員を兼務しております。

【株式の状況】(2015年3月31日現在)

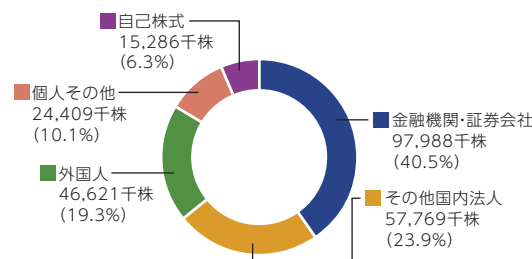
発行可能株式総数 800,000,000株  
発行済株式の総数 242,075,556株  
株主数 9,807名(前年度末比1,898名減)

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
横浜ゴム株式会社	22,682	10.00
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	11,340	5.00
株式会社みずほ銀行	11,310	4.99
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	8,806	3.88
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	7,965	3.51
朝日生命保険相互会社	7,679	3.39
全国共済農業協同組合連合会	7,450	3.28
旭化成ケミカルズ株式会社	6,438	2.84
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	5,125	2.26
CMBL S.A. RE MUTUAL FUNDS	4,333	1.91

(注) 1.持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2.当社は自己株式15,286千株を保有しておりますが、上記の表には記載して  
おりません。

所有者別分布状況



【株主メモ】

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
配当金受領株主確定日 3月31日および中間配当を行うときは9月30日  
基準日 毎年3月31日(その他臨時に必要なときは、あらかじめ公告します。)  
公告方法 電子公告 <http://www.zeon.co.jp/>(ただし電子公告によることができない事故  
その他のやむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。)  
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
同連絡先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-8507)  
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)  
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063)  
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

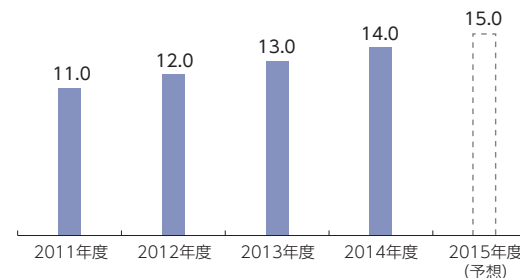
住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である  
三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

【年間配当金】(単位:円)



IR情報WEBサイトのご案内

決算発表スケジュールや決算説明会資料、株式事務のご案内などをご覧いただけます。どうぞ活用ください。

日本ゼオン IR 検索

<http://www.zeon.co.jp/ir/index.html>

